

各 位

会社名 株式会社西武ホールディングス
代表者 代表取締役社長兼COO 西山隆一郎
(コード番号：9024 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員広報部長 多々良嘉浩
(TEL. 03-6709-3112)

子会社における鉄道旅客運賃改定申請に関するお知らせ

本日、当社連結子会社の西武鉄道株式会社は、2026年3月（予定）の改定実施に向けて、国土交通大臣宛に鉄道旅客運賃の変更認可申請を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本申請は、アフターコロナの生活様式の浸透、増加する老朽設備、人手不足や資材価格高騰など、今後も厳しい事業環境が続く中、永続的に鉄道事業を運営し、お客さまへ良質かつ快適なサービスを提供するため、2002年以来24年ぶり（消費税率変更によるものを除く）となる鉄道旅客運賃の改定に向けて行うものです。

記

1. 実施予定時期

2026年3月

2. 改定率・増収率

(単位：%)

		上限運賃	
		改定率	増収率
定期外		11.9	8.0
定期	通勤	10.0	9.7
	通学	0.0	0.0
	計	9.2	8.9
合計		10.7	8.4

※ 現行運賃に鉄道駅バリアフリー料金を含めた場合の改定率・増収率です。
含めない場合の改定率は「定期外 16.8%」「定期（通勤） 16.9%」です。

3. 鉄道収支実績および推定

(単位：百万円)

項目	2023年度 (実績)	2026～2028年度（3カ年平均）	
		現行	申請
収入	99,260	103,090	110,950
支出	97,645	113,429	113,429
差引	1,614	△10,338	△2,479
収支率	101.7%	90.9%	97.8%

※ 申請上の計算方式によるものであり、実際の収支とは異なります。

※ 端数処理のため、収入・支出の差分と差引が一致しない場合があります。

(参考) 西武鉄道株式会社ニュースリリース

鉄道旅客運賃の改定を申請しました ～永続的な鉄道事業運営と良質かつ快適なサービス提供のために～

URL https://www.seiburailway.jp/newsroom/news/20250314_unchinkaitai

以上

申請理由

- 当社は、常に「安全・安心」を基本に、良質かつ快適なサービスを提供し、東京・埼玉エリアにて、お客さまの生活に欠かせない公共交通機関として事業を運営してまいりました。
- しかしながら、新たな生活様式の浸透や少子高齢化の進展による鉄道利用の減少に加え、人手不足や資材価格高騰など経費増加の懸念もあり、厳しい経営環境が継続する見込みです。
- 安全・安心なサービスをお客さまに提供するためには、増加する老朽設備の更新、連続立体交差事業、踏切安全対策、自然災害への対策などの各施策の推進や、人財を確保するための従業員の処遇改善、職場環境改善が不可欠です。さらにバリアフリー設備のさらなる整備やカーボンニュートラル実現への取組みなども公共交通機関としての社会的責任を果たすために重要であると考えております。
- つきましては、永続的に鉄道事業を運営し、お客さまへ良質かつ快適なサービスを提供するため、当社の経営努力を前提としたうえで、不足する費用の一部についてお客さまにご負担をお願いしたく、2002年以来24年ぶり(消費税率変更によるものを除く)となる運賃改定を申請いたしました。引き続き「安全・安心」を基本に、「住みたい沿線」「訪れたい沿線」を実現するとともに、良質かつ快適なサービスを提供すべく事業を運営してまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

実施予定時期・改定率等

- 実施予定時期 2026年3月
- 改定率等 改定率10.7% 増収率8.4%

普通運賃

- 初乗り運賃は現行水準と比較して10円程度の値上げ ICカード：157円※ → 169円
- 都心部・郊外部での設備投資に要する費用を薄く広くご負担頂くため、短中距離帯は概ね一定割合で偏らない改定とする一方、遠距離帯は観光需要創出・秩父地方活性化のため改定幅を抑制する
 (例)池袋～西武秩父間 ICカード：796円※ → 800円

※鉄道駅バリアフリー料金を含んだ額です

通勤・通学定期

- 通勤定期は、概ね対キロ区間ごとの普通運賃の値上げ幅に合わせた改定とする
- 通学定期は、家計負担に配慮し据置とする

鉄道駅バリアフリー料金

- 運賃への鉄道駅バリアフリー料金の加算は、今回の運賃改定にあわせ廃止とする(施設整備は継続して実施)

改定率内訳および定期割引率

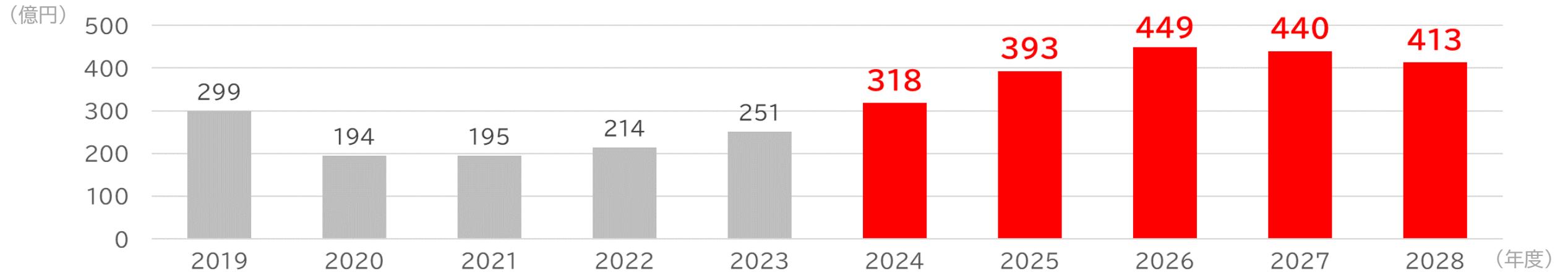
改定率			
普通運賃	通勤定期	通学定期	合計
11.9%	10.0%	0.0%	10.7%

※現行運賃に鉄道駅バリアフリー料金を含めた場合の改定率です

定期割引率			
通勤定期		通学定期	
現行	申請	現行	申請
35.8%	37.2%	81.4%	83.4%

※現行定期割引率は鉄道駅バリアフリー料金を含んで計算しております

今後の設備投資計画



事業の根幹 安全・安心なサービスのさらなる追求

…2024年度～2028年度 平均 210億円/年

- ◎ホームドア・固定柵の整備
- ◎踏切安全対策
- ◎車内／駅構内の安全確保・防犯対策
- ◎自然災害対策

重点テーマ① 沿線価値の向上

…2024年度～2028年度 平均 137億円/年

- 【次世代の新宿線に向けて】 ◎連続立体交差事業
- ◎西武新宿駅の新たな地下通路
- ◎新宿線有料着席サービス
- ◎小川駅建替え等
- 【より環境にやさしい西武鉄道へ】 ◎通勤車両の更新
- ◎サステナ車両の導入
- ◎山口線車両の更新

重点テーマ② デジタル化

…2024年度～2028年度 平均 35億円/年

- ◎タッチ決済による実証実験
- ◎磁気券からQRコード乗車券への置き換え
- ◎無線式列車制御(CBTC)システム
- ◎鉄道ハレーションの高度化・効率化

重点テーマ③ 働きがい向上

…2024年度～2028年度 平均 19億円/年